

試合番号 : 266	試合会場 : 国立代々木競技場第二体育館	観客数 : 2,120			
開始時間 : 14:00	終了時間 : 16:11	試合時間 : 02:11			
主審 : 木内 誠二	副審 : 高橋 宏明				
東京グレートベアーズ	通算 10勝 24敗 ポイント: 31	16 第1セット 25	VC長野トライデント	通算 3勝 31敗 ポイント: 13	
<p>監督コメント</p> <p>今シーズン、ホームゲーム最終戦ということで、勝利を目指して戦いましたが、昨日同様VC長野に苦しめられ、思うような展開になりませんでした。途中出場の長友、笠利が流れを引き寄せてゲームを変えてくれました。あと2試合、チーム丸となり、そして誇りを持って戦いたいと思います。今週も熱い声援ありがとうございます。</p>	3	28 第2セット 26	1	<p>監督コメント</p> <p>昨日の反省を活かし、第1セットのスタートから良い集聚力を持って試合に入ることができました。第2セットもいい形でスタートはできたが、東京GBの高い集聚力からの攻撃に耐え抜くことができなかった。第3セット以降、東京GBの攻撃を止めることができず、最後まで苦しめられた。2日間たくさんのご声援ありがとうございます。来週ホームゲームでの今シーズン最終戦も応援よろしくお願いします。</p>	
		25 第3セット 23			
		25 第4セット 21			
		第5セット			
<p>要約レポート</p> <p>ホームゲーム最終日を連勝で飾りたい東京グレートベアーズと昨日の悔しさをバネに1勝でも勝ちを取りたいVC長野トライデントとの対戦。第1セット前半、攻守に安定感を見せるVC長野がリードする。追いつきたい東京GBだが、なかなかゲームを組立てられず、今橋の意表を突くツアタックで奮起するも、VC長野の工藤、アラウジョがアタックで攻め込み、VC長野が先取した。第2セットはスタートから東京GBはアラウジョ、戸島の攻撃で連続得点を重ねるが、工藤、アラウジョが息もつかせぬアタックでVC長野が逆転する。東京GBは途中交代した長友、栗山、笠利の活躍で追いつき、その後は一進一退の攻防が続く。ミスが許されないプレッシャーの中、見事に勝ち抜いた長友のアタックが決まり、東京GBがセットを奪い返した。第3セットはスタートから長友のサービスエース、今橋のブロック、戸島のフェイントが決まり勢いになる東京GBがリードする。追いつきたいVC長野だが、ミスが続きなかなかリズムを取り戻せない。勢いがとまらない東京GBは山田、長友の攻撃がはまり、VC長野の三輪のブロック、波佐間のサービスエースで追いつけるVC長野を振り切りセットを連取した。第4セット、勢いが止まらない東京GB長友のアタックとサービスエースが立て続けに決まり、東京GBが一歩リードする。1勝をおげたVC長野は落とせないこのセット、アラウジョ、工藤の両輪の活躍で追いつき、両チーム譲らないまま後半を迎える。ここで本日絶好調の長友のサービスエース、アタックが決まり、東京GBがホームゲーム最終日、満員の観客を前に勝利した。</p>					

試合番号 : 267	試合会場 : ウィングアリーナ刈谷	観客数 : 2,250			
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:29	試合時間 : 01:29			
主審 : 戸川 太輔	副審 : 澤 達大				
ジェイテクトSTINGS	通算 20勝 14敗 ポイント: 64	25 第1セット 21	大分三好ヴァイセアドラー	通算 5勝 29敗 ポイント: 14	
<p>監督コメント</p> <p>まずは粘り強いプレーを見せた大分三好チームを讃えたいと思います。昨日引き続き素晴らしいプレーが展開できたので、すく満足しています。いつも多くのご声援、ありがとうございます。引き続き応援をよろしくをお願いします。</p>	3	25 第2セット 17	0	<p>監督コメント</p> <p>第1セット、立ち上がりは良い試合展開でゲームを進めることが出来ましたが、点数を取らなければならない局面で取り切ることが出来ず、流れに乗ることが出来ませんでした。来週は順位が決まる大切な試合です。勝つ姿をファンの皆さんに見られるように頑張ります。本日も沢山の応援をありがとうございます。</p>	
		25 第3セット 20			
		第4セット			
		第5セット			
<p>要約レポート</p> <p>ジェイテクトSTINGSのホーム最終戦に大分三好ヴァイセアドラーを迎えるの一戦。第1セット、大分三好が2-1から川口、モゲニの連続ブロックで序盤をリードする。中盤以降、ジェイテクトは藤中のアタックや、大分三好モゲニのスパイクをウルナウトが1枚ブロックで止め、逆転に成功しセットを先取した。第2セット、序盤ジェイテクトのリードで試合が進む。大分三好はすぐにメンバーチェンジで伊藤、古賀を投入、この2人のコンビがチームを牽引し、古賀がこのセットチーム最多得点し追い上げを見せる。ジェイテクトはセッター河東の的確なトスが都築が強烈なアタックを決め、このセットもジェイテクトが連取した。第3セット、大分三好7-11から、このセットスターティングメンバーに入った山田がブロック、次のラリーでは強烈なアタックを決め最大5点のビハインドを2点差まで縮めた。しかしジェイテクト藤中がアタックを決め、サーブでは2本連続でノータッチのサービスエースを決め、再び点差を広げる。最後は西田がアタックを決め、今シーズン最後のホームゲームを連勝で飾った。</p>					

試合番号 : 269	試合会場 : パナソニックアリーナ	観客数 : 2,510			
開始時間 : 14:02	終了時間 : 16:10	試合時間 : 02:08			
主審 : 浅井 唯由	副審 : 富田 博一				
パナソニックパンサーズ	通算 22勝 12敗 ポイント: 71	22 第1セット 25	堺ブレイザーズ	通算 22勝 12敗 ポイント: 65	
<p>監督コメント</p> <p>今日は負けてしまいましたが本当に素晴らしい試合でした。途中出場の選手全員が良い仕事をして、最後の最後まで諦めずに戦えたのが嬉しいです。悔しいですがまだV・ファイナルステージに行ける可能性はあるので全力を尽くして頑張ります。引き続き応援をよろしくお願いします。</p>	2	25 第2セット 20	3	<p>監督コメント</p> <p>昨日の敗戦から切り替え、大事な試合を勝ち切ることができました。途中交代の選手も含めて、全員のハードワークで掴んだ勝利は、チームにとって非常に大きいものとなりました。リーグ終盤、最後までブレイザーズらしいプレーで、サポーターの皆さんに感動を与えられるような戦い続けます。熱い応援ありがとうございます。最後まで応援をよろしくお願いします。</p>	
		25 第3セット 27			
		25 第4セット 16			
		13 第5セット 15			
<p>要約レポート</p> <p>V・ファイナルステージ進出をかけた、勝利したい両チーム。第1セット、パナソニックパンサーズは山内や清水、クビアクのスパイクで4連続得点を上げ流れを掴むと終始リードする。対する堺ブレイザーズは、バーノンや迫田のスパイクで応戦し追い上げを見せると、バーノンや竹元のブロックが決まり逆転に成功。その勢いのまま堺が先取した。第2セット、中盤まで一進一退の攻防が続く中、パナソニックはエバデットのサービスエースで抜け出すと途中出場の西山のブロックやスパイクが要所で決まり、セットを奪取る。第3セット、パナソニックはスターティングメンバーに起用された西山が、スパイクやサービスエースで得点を重ねる。一方の堺は、リベロを中心とした拾って繋ぐ全員プレーで高野やバーノンにボールを集め、デュースまでもつれ込む展開となり、最後はバーノンの連続スパイクが決まり堺がこのセットをものにす。第4セット、後がないパナソニックは西山や波辺の力強いスパイク、波辺とエバデットの連続ブロックなどで一気に突き放すと、セットカウント2-2のタイに戻した。第5セット、両チーム一歩も譲らない展開の中、深津のブロックで再度流れを引き寄せた堺は、高野の好リレーや竹元のブロックで一気に突き放す。対するパナソニックも西山のスパイクやサービスエースで追い上げを見せるも、最後はバーノンのバックアタックが決まり堺が大接戦を制した。</p>					

試合番号 : 270	試合会場 : 沼津市総合体育館	観客数 : 2,098			
開始時間 : 14:00	終了時間 : 16:06	試合時間 : 02:06			
主審 : 桑原 健輔	副審 : 村中 伸				
東レアローズ	通算 22勝 12敗 ポイント: 60	25 第1セット 20	JTサンダーズ広島	通算 16勝 18敗 ポイント: 50	
<p>監督コメント</p> <p>今日の試合はファイナル4に向けて負けられないプレッシャーのかかる中、選手達がそのプレッシャーに打ち勝ち、勝利出来たことはとても良かったと思います。来週、リレーラウンド最終週ですので、これまでやってきたことをすべて出し尽くせるよう準備して参ります。2日間、たくさんのご声援ありがとうございます。</p>	3	23 第2セット 25	1	<p>監督コメント</p> <p>今日の試合は相手が内容で上回っていたと思う。途中出場の選手はそれぞれ持ち味を発揮して劣勢だった状況を変えてくれた。来週は連勝してリーグを締めくくりたい。ファンの皆様、ご声援ありがとうございます。</p>	
		25 第3セット 22			
		25 第4セット 21			
		第5セット			
<p>要約レポート</p> <p>昨日は第4セットで41分間の激闘を繰り広げた、東レアローズとJTサンダーズ広島の両チーム、本日の東レホーム最終戦は、満員のファンが見守る試合となった。第1セット、東レは富田、小澤を中心にJT広島ブロックをかかわって得点を重ねる。対するJT広島は、好リレーから粘り強く切り返し小野寺、ラッセルがスパイクを決めていく。終盤、富田が2連続でサービスエースを決め、東レがこのセットを奪取した。第2セット、東レは要所で高橋が相手のスパイクをブロックし、流れを引き込む。JT広島はラッセル、武智が好リレーからの攻撃をものにし、21-21と追いつく。終盤、小野寺が相手のフェイントを渾身のブロックで得点し、そのまま流れに乗ったJT広島がこのセットを取り返した。第3セット、両チーム譲らずサイドアウトの応酬で1点差の展開が続く。東レはバダルにボールを集めて着実にリードしていく。JT広島は要所で3枚ブロックが機能し、東レの攻撃を阻止して詰め寄る。最後は東レ高橋がブロックポイントを決めてこのセットを奪い、セットカウントで一歩リードした。第4セット、東レが山口、酒井の好リレーとバダル、高橋のブロックポイントでリードする。JT広島はテクニカルタイムアウト明けから金子のサーブで攻勢に転じ、6連続得点をし互角の展開に引き戻す。終盤、東レ酒井のトスがブロックの壁を崩して得点を重ね、最後は富田の精神一倒を感じさせるサーブが相手を崩し、東レが勝利した。</p>					